

EXHIBITION・ギャラリー・ウェブサイト情報

**フォスター+パートナーズ展-都市と建築のイノベーション**  
会場 森美術館(六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー内スカイギャラリー)  
東京港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー52階  
期間 2016年01月01日(金)~2016年02月14日(日) 会期中無休  
一般1,800円/学生(高校・大学生)1,200円/子供(4歳~中学生)600円/シニア(65歳以上)1,500円  
時間 10:00~22:00(入館は閉館30分前まで)

**廣村正彰「金沢でJunglin」おぼろげ**  
会場 金沢21世紀美術館 デザインギャラリー  
石川県金沢市広坂1丁目2-1  
期間 2015年11月21日(土)~2016年05月08日(日) 入場無料  
休館日 月曜日(ただし、11/23、1/11、3/21、5/2は開場)、11/24、12/29~31、1/1、1/12、3/22、5/6  
時間 10:00~18:00(金・土は20:00まで)

**マカオのアスレージョ-ポルトガル生まれのタイルと石畳-展**  
会場 LIXILギャラリー  
東京都中央区京橋3-6-1B 東京建物京橋ビル LIXIL-GINZA2F  
期間 2015年11月26日(木)~2016年02月20日(土) 入場無料  
休館日 水曜日、12/29~2016年1/6  
時間 10:00~18:00

**吉岡徳仁 ガラスの茶室-光庵 京都・フィレンツェ 姉妹都市提携50周年記念 特別展覧会**  
会場 円覚寺  
京都府京都市山科区扇形子美花鳥町2B  
期間 2015年04月09日(木)~2016年04月08日(金) 会期中無休  
大人500円(450円)/中高生400円(300円)/小学生父兄同伴無料(200円)/寺院団体(10名以上)400円 予約料金は別途  
時間 9:00~17:00(16:30受付終了)

**JAPAN SHOP**  
会場 東京ビッグサイト(東京国際展示場)東4・5ホール  
東京都江東区有明3-10-1  
期間 2016年3月8日(火)~11日(金)  
当日券 2,000円(税込、同時開催の展示会と共通)  
時間 午前10時~午後5時(最終日のみ午後4時30分終了)

**オープンスペース 2015**  
会場 NTTインターコミュニケーションセンター [ICC]  
東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー4階  
期間 2015年05月23日(土)~2016年03月06日(日) 入場無料  
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合翌日、ただし9/22は開場)、年末年始(12/28-1/4)、保守点検日(8/2、2/14)  
時間 11:00~18:00

ウェブサイト情報  
ジャパンデザインネット <http://www.japandesign.net/>  
日業ShopBiz <http://www.shopbiz.jp/>

SHOKANKYO 83 | January 2016 |

Japan Commercial Environmental Design Association (JCDA)  
 事務局 2016年1月末日発行 発行:一般社団法人 日本商業環境デザイン協会 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-1-6外神田  
 会館101 tel:03-5207-6707 fax:03-5207-6708 http://www.jcd.or.jp/ e-mail:info@jcd.or.jp  
 企画・編集・制作/JCDA本部コミュニケーション委員会(委員長:窪田 茂 編集長:吉川紳夫 編集委員:高川正之、木村倫香、水谷 晶人)  
 監修・デザイン:広告編集/吉川紳夫 頒布価格 ¥500



リブから  
株式会社サカイ S

本社 T:0120-07-7810 F:0120-96-9433 〒811-0203 福岡県福岡市東区地浜1-27-24  
 (別荘等不在の場合が有ります※本誌にのみ有効です)  
 東京ショールーム T:03-6300-4341 〒151-0066 東京都渋谷区初台1-29-13BELAIR Kito101

**石のソリューションカンパニー**

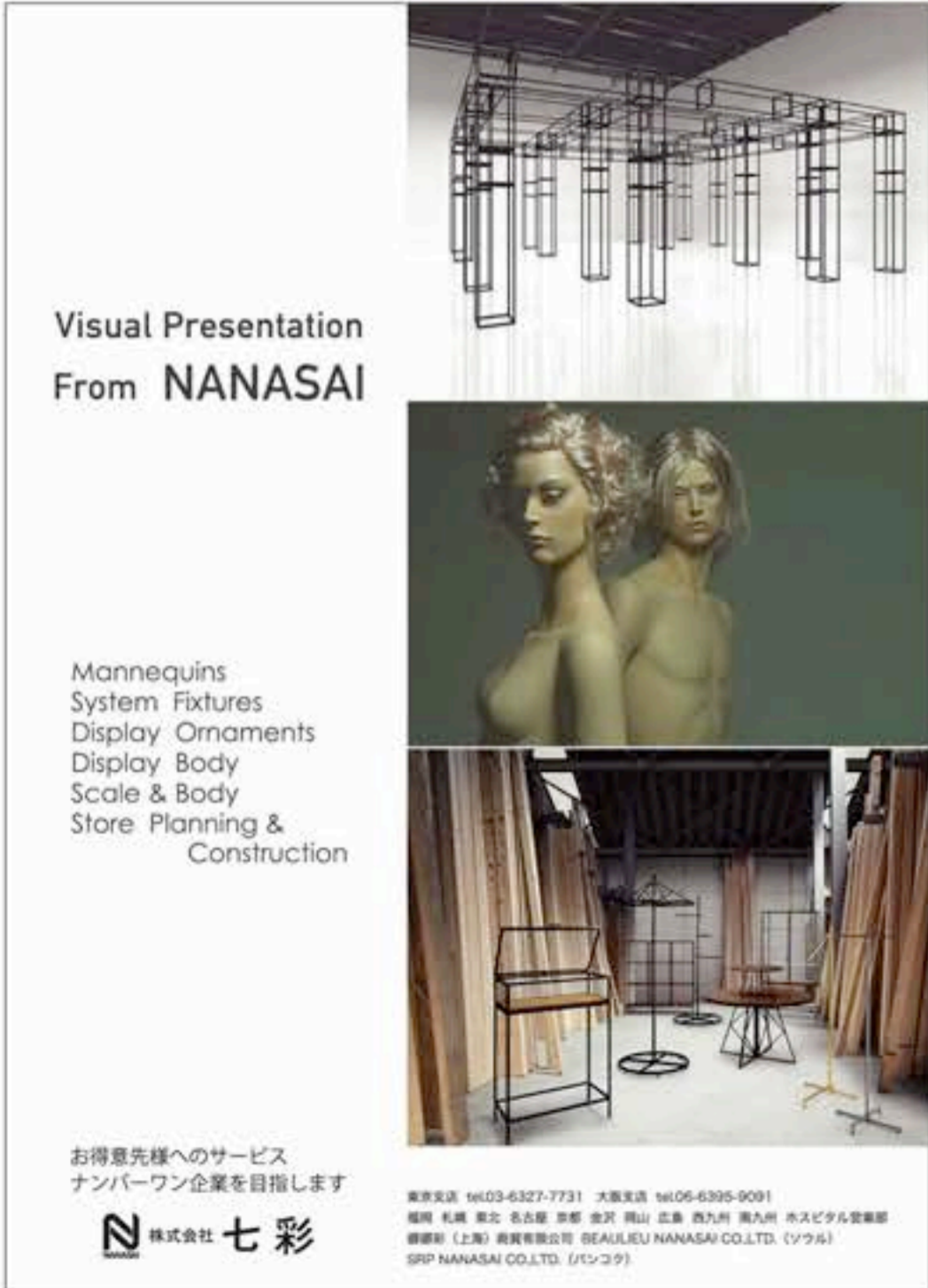
石の厚さを2ミリまで薄切りにできる技術が我が社の強みです。  
 石材にタイル、ハニカム、ガラス、FRPなどを組み合わせた  
 複合板で石材だけでは解決できないお客様の課題を解決する  
 「石のソリューションカンパニー」を目指します。

ESG(石/石材+ガラス)  
 石材に関することは、何でもご相談下さい。

**ESG** ソリュート株式会社  
 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-7-1 (広都ミヤビル6F) TEL.03-5809-2815 FAX.03-5809-2816  
<http://www.esg-japan.com>

株式会社ESG JAPANは、ソリュート株式会社に社名変更いたしました。

**Visual Presentation From NANASAI**

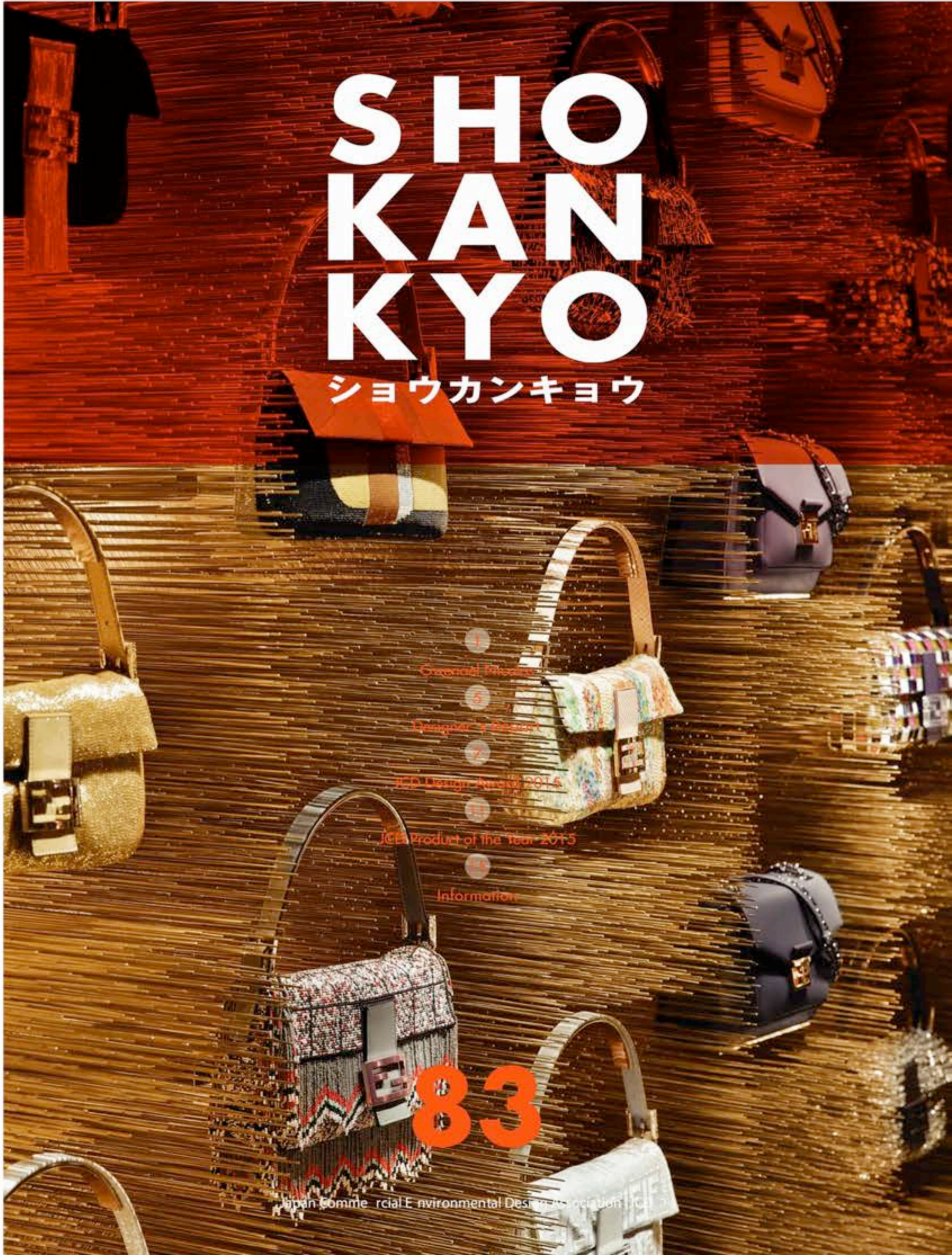


Mannequins  
 System Fixtures  
 Display Ornaments  
 Display Body  
 Scale & Body  
 Store Planning & Construction

お客様先様へのサービス  
 ナンバーワン企業を目指します

**株式会社 七 彩**

東京支店 TEL:03-6327-7731 大阪支店 TEL:06-6395-0091  
 福岡 札幌 東北 名古屋 京都 奈良 岡山 広島 西九州 鹿児島 ホテル建築部  
 建設部(上海) 商業施設部 BEAULIEU NANASAI CO.,LTD.(ソウル)  
 SRP NANASAI CO.,LTD.(バンコク)



SHOKANKYO  
 ショウカンキョウ

- 1. Coverall Magazine
- 2. Designer's Choice
- 3. JCD Design Award 2016
- 4. JCD Product of the Year 2015
- 5. Information

83

グエナエル・ニコラ  
Gwenael Nicolas

## デザイナーは政治家よりもパワフル

Interview / report : 大菅力

グラフィックからプロダクト、インテリア、建築まで幅広く活躍するフランス人デザイナー・グエナエル・ニコラ。来日して今年で25年。人生の半分を東京で活動してきた。ジャンルを軽々と横断しつつ、デザイナーの強い個性は一貫している。活動の場が世界に広がりがつつある同氏に、クリエイションに対する思いや自身のデザイン手法について語ってもらった。

### ■メディアジェニックな時代

インテリアデザインの領域に、大きなことがいくつかあります。その1つが「目にも身にもやさしい」ことです。たとえばシンボリックなアイコンを撤廃すること。日経新聞社の湯呑み型のオブジェがその一例です。色彩計画にも似た分かりやすさがあります。場合によっては空間のすべてをピンクにすることもあります。なぜ分かりやすさを重視するか。それは、プロジェクトはクライアントのためにあるのではなく、ターゲットにしているお客さんのためにあるからです。デザイナーは「あなたの好みではないかもしれないが、ターゲットにはこちらが適している」ということをクライアントに伝えなければならない。分かりやすさという意味では、フォトジェニックの時代から、メディアジェニックの時代になってきているということも重要です。プロのカメラマンが撮って格好よく見えるのは当たり前で、素人がスマートフォンで撮った写真でも、印象的に映るデザインを考えないといけません。

メディアジェニックの時代を示す事例の1つが、ロンドンにあるFENDIの旗艦店に設けたスパイクウォール。わずか10平米の店ですが、オープンしてから30秒で多数のビューを記録しました。昔はいい空間をつくっても、限られた人にしか見てもらえなかったのが、今はインターネットを通じてたくさんの人に見てもらえるのです。そして、足を運んでみたいと思わせることができる。

つまり、メディアジェニックの時代は、デザイナーが広告代理

店になるわけです。いや私たちはすでに広告代理店よりもパワーを持っていると思います。残念ながらバジェットは彼らとずいぶん違いますが(笑)。

### ■多様なデザインの経験が大事

デザイナーに必要なのは、チャレンジです。すでに確立している自分のスタイルを繰り返すだけでは進歩がない。何よりも、それでは自分自身が面白くありません。あるデザインのやり方を何度かやると、結果はあらかじめ分かるようになります。うちの事務所では、1年間に50プロジェクトを手掛けています。そこにチャレンジがなければすぐにルーティンになってしまいます。以前、パロックが大好きなクライアントと仕事をしたことがあります。これまでの自分のテストとは大きく異なるので、今までの方法論を壊す必要がありました。壊した上で再生させ、以前よりも方法論は強くなる。そんな感じの経験でした。このプロジェクトで、パロックとは何かということを理解できました。パロックとは「シンプルでパワーがある」ということなのです。ほかに何もなくて、それだけで成立する。それがパロックです。理解してみると、私のデザインの考え方も同じでした。それが分かれば、クライアントとのコミュニケーションも深くなり、どんどんデザインを追求できます。さまざまなクライアントのもとで、多様なデザインを追求するのは大事なことです。その際もデザインの核となるライティ

ングやディテールなどのルールは変えられません。つまり、デザインの中核部分は変わってはいませんが、色やテクスチャなどはどう変わってデザインとしては同じなのです。

たとえば、弊社の事務所の空間は真っ白ですが、これが全部ピンクになってもデザインは成立します。コンセプトは何も変わっていないからです。逆にいうと色やテクスチャは、プロジェクトの性格に合わせて変えればよいのです。

### ■コストはメリハリが大事

よくコストの制約について聞かれますが、それらはデザイン上の障害とは考えていません。たとえば、一連のPlots Please ISSEY MIYAKEの仕事は予算が潤沢なプロジェクトではありませんでした。しかし、それがむしろ面白い。「ニコラ。インテリアデザインはいらない。すごくスマートで、いいアイデアを教えてください」。三宅一生さんはこういうスタンスです。私もその姿勢に共感します。私は自己満足のためのデザインはやっていない。商品を売るためにどう空間をつくるか。お客さんが店にきたときにどういう経験を与えるか。その2点がクリアになるように考えています。この仕事は分類上、インテリアデザインのカテゴリに入っていますが、本質は違う。これはリテールのためのデザインです。

ユニクロ新宿西口店も予算の余裕がないプロジェクトでした。そうした場合、何を重視するかが重要になります。そのときの考え方は明快です。とにかくファサードを頑張って往來の人を誘導しよう。そういう選択になりました。同店の黒くて奇妙な私たちをした外観には、そうした意図が込められているのです。ちなみに同店では、仕上げ材や照明、什器などは、極力安価なものにしています。そしてディテールも特別なことはしていません。大きな空間で、商品がたくさん置かれるため、20mm、30mm単位の細かいディテールを追求してもお客さんには意識されないのです。

このように、予算が少ないプロジェクトでは、誰もが分かることを頑張る、気づきにくいところは見せないようにするのが基本です。弊社の事務所のような考え方は、天井を真っ白に

して照明もなくす。そのことで存在自体が消えてしまいます。

### ■オリエンは重視しない

最近、弊社はアパレルブランドの店舗の仕事が増えています。この種の仕事では、一部を除いてオリエンテーションを重視しすぎないようにしています。プロジェクトが動き出した後に、社内ですべての意見が出たり、組織変更などにより、中身が変わることがよくあるからです。

かつて、あるコンペで分厚く、細かいオリエンテーションシートが渡された事がありました。これに準じてくださいと。ところが、プレゼンテーションの日にクライアントは、内容がほぼ変更になりましたと、言ったのです。私はもともとシートに沿ったプレゼンテーションをしていないので、結局勝つことが出来ましたが、そのときに理解しました。これはインテリアデザインのコンペではなく、コミュニケーションのコンペなのだ。そう考えると、オリエンテーションに対して忠実にデザインを考えることに意味はありません。

実際、オリエンテーションの資料に「コンセプトはブラック&ホワイト」と書いてあっても、色を用いるのが駄目というわけではありません。色を使った空間のイメージができていないだけのことも多いのです。

そもそも私たちデザイナーの仕事は未来の可能性を見つけることです。つまり、「今はここまででいいけど、何年先はここまでいける」という可能性を考えるのがデザイナーの役割です。それにはオリエンテーションは邪魔になることが少なくありません。

### ■スタディは念入りに行なう

オリエンテーションをじっくり見ることはしませんが、スタディは念入りに行います。必ず何店舗も調査し、人の動きや流れ、商品の展示方法、ハンガーが可動か固定か、高さや材質はどうか、各売り場の明るさはどうかという点まで細かくチェックし、気になるところをすべて抽出します。

こうした細かい問題点について、クライアントは理解していないことが多いです。共通認識を築くために一緒に店に赴いて検





証することもあります。そこまでは、違うところが気になっていただけど、もっと大事な所があるということも理解してもらえます。そして、このデザイナーは現場の細かい問題まで全部理解していて、すぐに答えを出せる人だという評価も買えます。クライアントはそういう人と仕事したいと思っているはずなんです。

#### ■模型とCGは大量につくる

初回プレゼンの際に大事なことは、コンセプトだけの提案で済ませたりせず、細部まで完成したプランでプレゼンすることです。そのために、模型を信じられないほどたくさんつくります。社内には模型チームがいて、1つのプロジェクトでハイエースが模型で満杯になるくらいの量を作成します。

模型は全体の模型と5分の1のシーンの模型を作ります。5分の1の模型は素材感と照明まで表現されていて、実物と変わりません。

CGもたくさんつくります。専任の社員が4、5人います。アニメーションをつくることもあります。

ここまで模型とCGに力を入れるのは、クライアントのなかには図面を理解できない人が多いからです。CGを見てもらっても空間イメージが伝わらないときがある。「これは地下1階ですか?」「3階です。」「レディースフロアですよ?」「メンズです。」「こういうやりとりが実際にあります。

こうしたクライアントにも空間を理解してもらうために、「この模型のここからの見え方を表現したらCGはこれ」というように、全体を表したものと部分を表現したものを照合させないと駄目です。そのために、模型には大きくフロアナンバーを振っています。

ここまでやるのは、ファーストプランのプレゼンの際に、場所のポテンシャルを説明して、既存の空間をどこまで変えることができるのか、ファサードのレギュレーションはどうなっているのかといったことを理解してもらうためです。

インテリアデザインは場所のパワーを生かすことが大事なのですが、多くのクライアントはそれを理解しておらず、現状のコンテキストで考えています。その既成概念を打ち壊すには、こ

うした作業が必要になります。

この部分への理解がないと、どれだけ説明を重ねても時間の無駄になります。そして、理解を得ることで、「もうちょっとここを変えてほしい」と言われることがなくなります。

この手法をオリエンテーション時に用いることもあります。クライアントからの依頼はスケッチレベルの資料の提出であったとしても、プランはもちろんCGやディテールまで完成させて提出します。クライアントは、予想外の力の入り方に驚きます。そして、「無償でここまでやる熱意は凄い」という評価につながり、そのプランが採用される可能性が高まります。

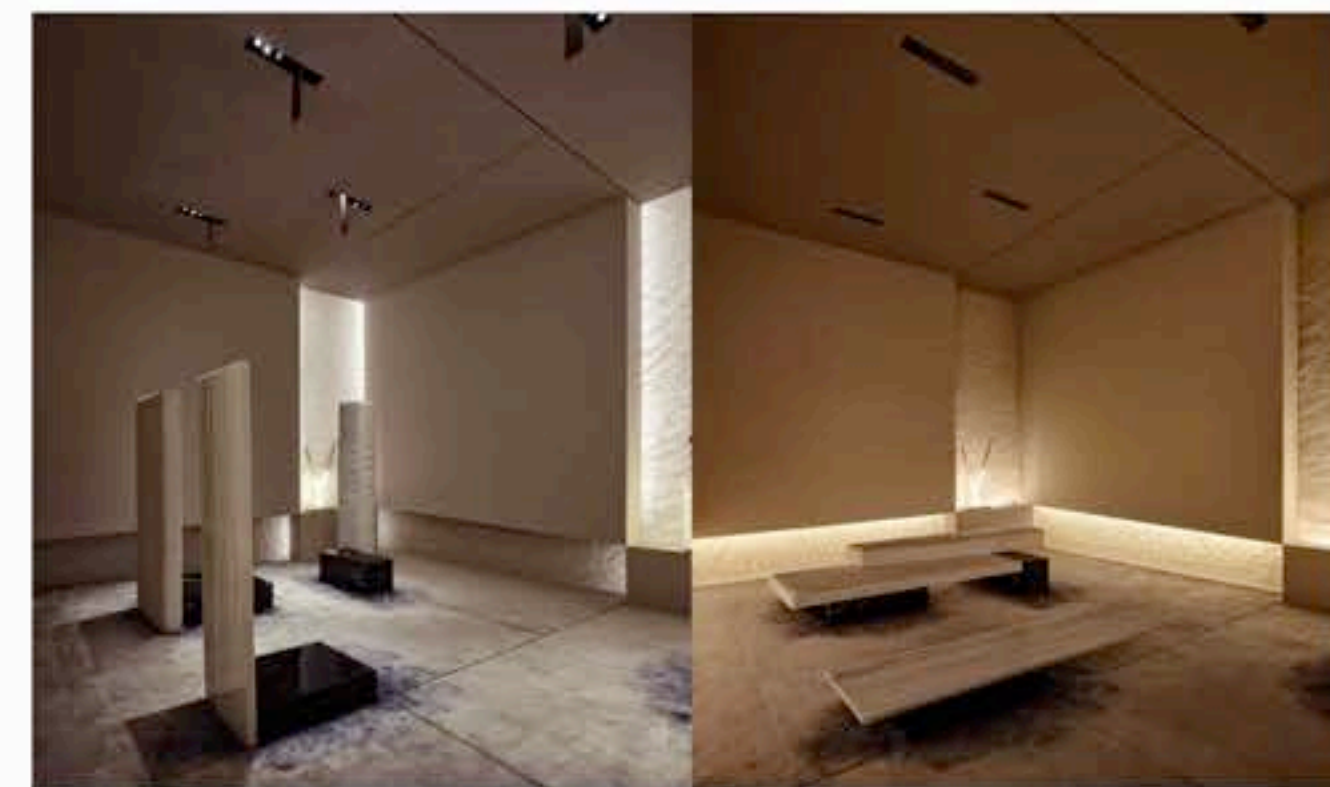
#### ■プレゼン時には「隙間」をつくる

プレゼンテーションの際には、「誰が出席するのか」「何人くるのか」ということが大事です。決定権のある人が参加しないと無意味なので、事前に参加者を確認することもあります。そして、当日は決定権のある人に訴えかけることを常に意識します。プレゼンのリハーサルをするときもあります。前日に会場を見学して、席の並び方やケーブルの位置を確認しておきます。当日、ケーブルの種類が違ってパソコンが使えない状態になるようなことを避けるためです。

プレゼンテーションの流れとしては、冒頭にクライアントが一番聞きたい事を説明し、安心感を与えます。少し時間をあけて、途中でまたクライアントが聞きたいことを説明します。最後にまったく違うことを伝えます。プレゼンの際には、こうしたリズムが大事です。言いたいことを言ったらストップする。それを何度も繰り返すのがポイントです。

プレゼンテーションの結果はイエスとノーのどちらかしかありません。イエスを勝ち取るためには、プレゼンのどこかに「隙間」をつくるのが大事です。隙間ができたらチャンス。そこから、実現すべきことをプッシュします。

首尾よくプランが採用されたら、最初のデザイン意図をキープすることが大事です。プロジェクトの進行中に、条件や状況が変わることはよくありますし、クライアントの担当者が変わることもある。それでも、デザイン意図を保ち続け、最初の強さ



を損なわないように努めます。

プロジェクトの中で、「コストが減った」「担当者が変わった」といったデザイン意図が歪められる要因が生じることはよくありますが、お客さんにとっては、そうした事情は関係ありません。関係があるのは最終的にどんなデザインになったかという結果だけです。プロセスにエネルギーを使っても、最終的にデザイン意図が保たれていなければ、何の意味もありません。

#### ■今は「誰も決めない」時代

最後に現状のデザイン状況について、私の考え方を述べておきます。

デザイナーは未来をつくる仕事です。デザイナーには自分の道やみんなの道をつくることのできる。このことは政治家とデザイナーしかできないことです。ただ、デザインを取り巻く状況はよくありません。私は「デザイン=エボリューション」だと考えています。

でも今の時代、エボリューションがスローダウンしています。電気自動車を買おうとしても、新しい車種はカタログにありません。メディア上ではさまざまな商品やテクノロジーの提案がされているように見えますが、商品にはなっていないのです。要はメディア上のメッセージと現実が違ってきているのです。メディア上では新しい時代が変わっているように見えますが、実際には変わっていない。私の感覚では、15年ほどデザインは停滞しています。

停滞の理由は、誰もが決めるリスクを取りたくないと考えていることです。新しい時代は「今の時代のこれをやめて、この方向でいこう」と決める人が出てこないと始まりません。

15年前のデザインは、近藤康夫さんや田中一光さんの作品を見れば分かるように、考え方がすごくクリアでした。それは「こうだ」と決めるリスクを取っていたからです。今の時代は、誰も決めるリスクをとらないぶん、デザインもボンヤリとしたものになりやすい。デザイナーの問題なのか、クライアントの問題なのか。もしかしたら双方の問題なのかもしれません。

「こうだ」と決めることで失敗することもあります。決まないとむしろ状況が悪くなっていきます。このことは、とても危険な兆候だと考えています。

#### ■究極的にはものより人が大事

全体としてはスローダウンしている印象をもっていますが、雑誌やウェブを見ると、個々にはパワーやビジョンがある人がいることが分かります。こうした、いまの時代をつくっている人に会うことを重視しています。

たとえばいま会いたい人の1人がテスラモーターズの創業者であるイーロン・マスク。電気自動車を開発し、その基本技術を公開している。今はロケットをつくっていて、本当に凄い。そういう人とたくさん会って話をしたいと考えています。

人と会うことにこだわるのは、時代というものは、情報を通じて理解するものではなくて、体験して感じるものだからです。そのためには、メディア経由ではなく、直接人と相対して話をきかないと駄目なのです。

そういう考え方に立つと、究極的には「どういものをつくるか」ということより、「誰と仕事をするか」ということが大事になります。誤解を恐れずに言えば、ものはどうでもいい。なぜなら、そのうちなくなってしまうからです。でも、人はなくなることはありません。

#### グエナエル・ニコラ (ぐえなえる にこら)

キュリオシティ代表。建築、インテリア、プロダクト、グラフィックなどジャンルを超えたデザインを展開。近年は日本を拠点としながら、海外プレステージブランドの店舗を多数手がけるなど、インターナショナルに活躍。2017年3月竣工予定の銀座和歌山駅前地の再開発「銀座六丁目プロジェクト」の商業施設部分の内装デザインを手がけている。

# Designer's-Reports

## JCDのグローバル化を語る

武石正道 笠原博幸  
小坂 聡 長谷川 清

### JCDは海外に開かれて行くか？



こんにちは。国際委員会の武石です。このところのJCDの海外対策はどのような感じになっているか、簡単に話したいと思ひます。みなさんも昨今のJCDデザイン賞にアジア各国からの応募が徐々に増えているのを、公開審査会等を通して感じてきていませんか？実は現在、各国のJCDと同じようなインテリアデザイナーの職能団体はデザイン賞を創設して、そういった事に意欲のあるデザイナーは、他の国のデザイン賞に応募するのが顕著になってきているのです。一時JCDは他の国との交流を停止していた時期があったのですが、前理事長の飯島さんから提案があり、近隣で話のしやすい、香港と韓国と日本の三か国でイーストギャザリング（EG）という小さいけれどもピリリと辛い、内容のある関係を模索して7年ほど前からスタートさせました。こういった関係は、やはりお互いに精通をしている個人個人のつながりから、発展していく事で、それぞれの国に居るデザイナー同士でだんだんと話を大きくさせていったのです。これはなかなか上手く始まって、三か国持ち回りで2回ずつ行われたのですが、韓国のKOSIDの理事長が改選で変わり、EGはKOSID内では認知されているものではなく、関知しませんでした。連絡があり、今までのゆるやかな関係は解消されてしまったのです。



そんななか去年の九月に、アジア環太平洋インテリアデザインアライアンス（APSDA）の前会長のフランシス氏が来日されて、JCDに会見を申し込まれました。APSDAはアジア環太平洋スペースデザインアライアンスの略で現在の参加国は、中国、オーストラリア、ニュージーランド、インド、インドネシア、香港、台湾、シンガポール、韓国、マレーシア、フィリピン、深圳、タイ。の12か国、16団体のアライアンスで、複数の団体が、互いにメリットを享受するための緩やかな協力体制を構築して来たわけですが、APSDAといえば、JCDもファウンダー国の一つとして創立に関わった経緯がありましたが、十年ほど前に脱退を表明して、それから繋がりが無かった団体ですが、現理事長の長谷川さんとともに会いまして、各国の理事長も何回か代替わりして、日本が抜けたという認識をしていなかったと。また機運の高まっているアジアのインテリアデザインの団体に、JCDも参加してほしい。については十一月に行われる、深圳のインテリアデザインの大会の中で、チェアマンミーティングをするので来ないかというお願いでした。長谷川さん、飯島さんと話をし、まずはどんな事になっているのか、調査のために深圳に向かったのです。



中国では、JCDの様な職能団体が政令指定都市ごとに林立していて、深圳のデザインアワードと聞いてもピンと来なかったのですが、行ってみるとビックリの規模の授賞式、800人規模の鳥居式の盛大なガラディナーが用意されていて、ヨーロッパも含めた国際的なデザインアワードとして開催されていたのです。日本からの応募者も来ていました。その会場で、招待されたAPSDA各国のチェアマンミーティングは、私たちが見るのと何か、ゆるい会合に思えたのですが、現在のAPSDAは先ほどのアライアンスという体制ですからどこかに事務局がある訳でもないし、供託金を納める訳でもなく、各国で行われるイベントに参加するといった形を取っているのです。ここで会議の主題は、世界規模でIFDに対してAPSDAはどうか独立した関係を作っていくかというものでした。IFDは参加国110か国、会員総数27万人と言われているインテリアデザイナー国際連合です。巨大な存在ですから、APSDAはアジアのやり方で、傘下に入るのではなく、独立した関係を続けたいという採択でした。その次は今年の三月にシンガポールで行われたメゾンエオブジェアジアの中に招待されたAPSDAチェアマンミーティングがあり、これから将来的に活動するのなら、どこかに本部を設置しなければ、法人格も取れないし、管理も出来ない、とマレーシアからの提案があり、賛同を得ました。



これは違う流れなのですが、九月に行われたパリでのメゾンエオブジェに関して、副理事長の小坂さんに話に来てJCDの簡単なスピーチを、ヨーロッパのデザイン団体の中で話してほしいという依頼があり、長谷川理事長、笠原デザイン委員長とともに、JCDデザインアワードにも応募してほしいという告知もかねて、ヨーロッパ各国のインテリアデザイン代表と面識を持つという成果もあるのですが、それは別機会にお話しする事にして、ここではAPSDAの動きに的を絞ります。そして今年最後の11月に行われたマレーシア、クアラ Lumpur の会議にて、開催国のマレーシアから、APSDAをアライアンスから、アソシエーション（協会）に移行する具体的な提案がありました。中身は二年一度で、次は来年に行われる、オーストラリア、アデレードのAPSDAの大会の中の会議にて採決が行われます。世界的に見てもアジアのデザイン事情は激しく流動しています。各国ごとに、インテリアデザイナー団体は国の補助や、強力な企業のバックアップ、会員の会費による運営など様々な形を取りながら、活動しています。今年のJCDのデザインアワードに対する海外からの応募も過去最高になりましたが、こういった活動が認知されて行くこと、その数はまだまだ伸びると考えられます。また海外のアワードの情報もこれから会員向けに告知をして、日本のインテリアデザインの強さをアピールして行きたいし、出て行きたい、と考えています。そんな国際委員会からの、ここ最近のダイジェスト版でした。（JCD国際委員長 武石正道）

### JCDデザインアワード

皆さん既にご存知の通り、今年のJCDデザインアワードは史上2番目の応募総数で512点もの応募がありました。そのうち海外からの応募は91点にのぼり、なんと2割弱が海外からの応募という結果になりました。国別では台湾、香港、中国、韓国という内容です。過去の経緯を見ますと2013年が31点（海外）448点（応募総数）、2014年53点（海外）473点（応募総数）、2015年91点（海外）512点（応募総数）という流れでここ3年で3倍と飛躍的な伸びを示しています。また金賞にはSYU SHENG-SIN氏（台湾）、銀賞にLEE CHUNG LIN氏（台湾）、Ajax Law氏 & Virginia Lung氏（香港）と3名の海外デザイナーが入賞したこともこの流れを大きく後押ししていくことなのでしょう。今年是中国の雑誌社で日本のJCDデザインアワードを紹介してもらいました。このことが初の中国からの24点の応募に繋がったと思います。また今年国際委員会では積極的にAPSDAの活動に参加して、環太平洋アジア各国と広く交流を深めています。これまでのような委員会の縦割りの活動ではなく、私たちデザイン賞委員会も国際委員会と協働してJCDデザインアワードをまずはアジアに広めていきたいと考えています。来年はシンガポール、マレーシアでJCDデザインアワードを認知してもらえるように活動していきます。今年9月にパリで開かれたメゾン・エ・オブジェにJCD代表として4名で行き、ヨーロッパ各国のデザイン団体と意見交換をしました。そこではJCDデザインアワードにぜひ応募したいというベルギー、インドなどの団体もあり、これからのグローバル化の可能性を感じてきました。個人的に香港のDFAAIに参加して感じたことですが、入賞者の顔ぶれはアジアの様々な国に及んでいます。そして贈賞式、パーティー等も規模がまったく違います。国際化することで広いフィールドで切磋琢磨し、より質に付加価値がついていく必要性を感じつつ、今後グローバル化してゆくなかでJCDデザインアワードがどんな賞なのかというインディベントな個性も明確にしてゆかなければならないという課題も認識しました。（JCDデザイン賞委員長 笠原英里子）



### JCDメゾン・エ・オブジェ活動報告



2015年9月4日～8日に開催されたメゾン・エ・オブジェパリに編み代表の計4名によりJCDとして初めて招かれた。同行者は長谷川理事長、笠原デザイン賞委員長、武石国際委員長と私（小坂）の計4名。9月5日にメゾン・エ・オブジェのメイン会場で世界各国から参加したデザイン団体の交流会に参加した。それぞれの団体の代表が活動内容を同時通訳を介して発表し、その後懇話会も行われた。参加団体は14でフランスから5団体、オランダ2団体、ベルギー、英国、オーストラリア、インド、アメリカ、韓国、日本（JCD）という内訳。（※添付リスト参照）アメリカのIIDAは1.3万人の会員を有し、プロフェッショナルな連帯と教育を目指す団体。33か所の支部はネットワークされ、世界規模での国際的なアワードを開催し、アジアデザインアワード（2015年12月9日香港で開催）、その他のカテゴリーのアワードや教育等、デザインのネットワークの大きさをアピールした。AIBN（ベルギー）からは大変積極的に交流を深めたいとのアプローチがあり、今後JCDアワードにも応募したいとの話を頂いた。DGDC（韓国）も同様に世界との交流に積極的に今後この団体との交流も考えられる。SBID（イギリス）はエリザベス女王直轄の協会でありデザイン賞の重要性を強調。過去に日本からのアワードの応募、入賞があったこと。IID（インド）は建築家、インテリアデザイナー、輸入会社、学生等から構成される協会。同様にアワード活動をしていて、交流を深化したいとの提案があった。短い期間であったが世界各国において、日本のインテリアデザインに対する、地位や興味の高さを感じた。国を越えてアワードを世界に広げて行きたいという共通の意志が感じられた。（JCD副理事長 小坂 聡）

### APIDA審査後記



なんとあの、トニー・チーが私のとなり！（写真）理事長になって回って来たお役ではあるけれど、コトの重さに気付いたのは、審査の資料が送られてきたからだった。APIDA2015（ASIA PACIFIC INTERIOR DESIGN AWARDS 2015）、この度、こちら最終審査委員のひとり選ばれ光栄なお役を引き受けることとなった。香港インテリアデザインアソシエーション主催のインテリアデザインアワード。例年のJCDデザインアワード審査のレベルの大きさを考えるとアジアはまだだ…。などイメージしていたけれどなんと10カテゴリー×最終エントリー10作品。なんとレベルの高いことか！このアワードの中では今、アジアのデザインはひと昔前のバカリ、思いつきデザイン、施工のひどさ等は姿を消し、すべてが一転、空間の広さをダイナミックに使った勢いのある作品がズラリ。コンセプトもまともめ日本クオリティに引けをとらないレベルにまで到達し、むしろ予算のかけられる分だけ私達を超えて行くのでは？感がいっぱい。そろそろ本気でヤバイ時代に入らぬ。高度成長期を終え、バブルをすぎ、成熟への道を進む日本のインテリアデザインは茶の湯のように深度を求め、鎮国の様へ。反してアジア圏はバブルのフィーバー。それは比べられないけれど、比べるのがアワード。あやうし！デザイン教育の根本からの違う日本と世界。足して共通言語の英語にとっても固い私達。（笑）さーどーする？JCDデザインアワードにもひたひたと忍び寄る海外勢の強い波。この辺でそろそろ。本腰を入れて、考える時が来たのでは。世界は確実に変化しているのである。（JCD理事長 長谷川 清）

厚さ2mmの特殊左官  
「エコリバイバル工法」  
下地を選ばず、厚さ2mm以内で表現する左官工法

株式会社プラン・ドゥ・モトハシ  
177-0042  
東京都練馬区下石神井3-9-10-1-101  
03-5923-6505 / F.03-3904-1920  
info@plando-group.co.jp  
担当 藤原 巧

装飾建材の総合メーカー  
意匠のご提案から設計・製造・見積・施工をトータルで承ります。

株式会社 三好 株式会社  
〒351-0101 埼玉県和光市白子 3-26-43  
TEL 048-464-0384 FAX 048-466-1034  
http://www.mihasi.co.jp E-mail:mihasisig@nihasi.co.jp



JCD Design Award 2014 大賞「リボンチャペル」 株式会社NAP建築設計事務所/申村拓志

# SEMI GRAND AWARD

— JCD準大賞 —

- 1- ショップ空間
- 2- 食空間
- 3- 大規模商業空間
- 4- サービス・エンターテイメント空間
- 5- 文化・公共・コミュニケーション空間
- 6- 公共生活空間

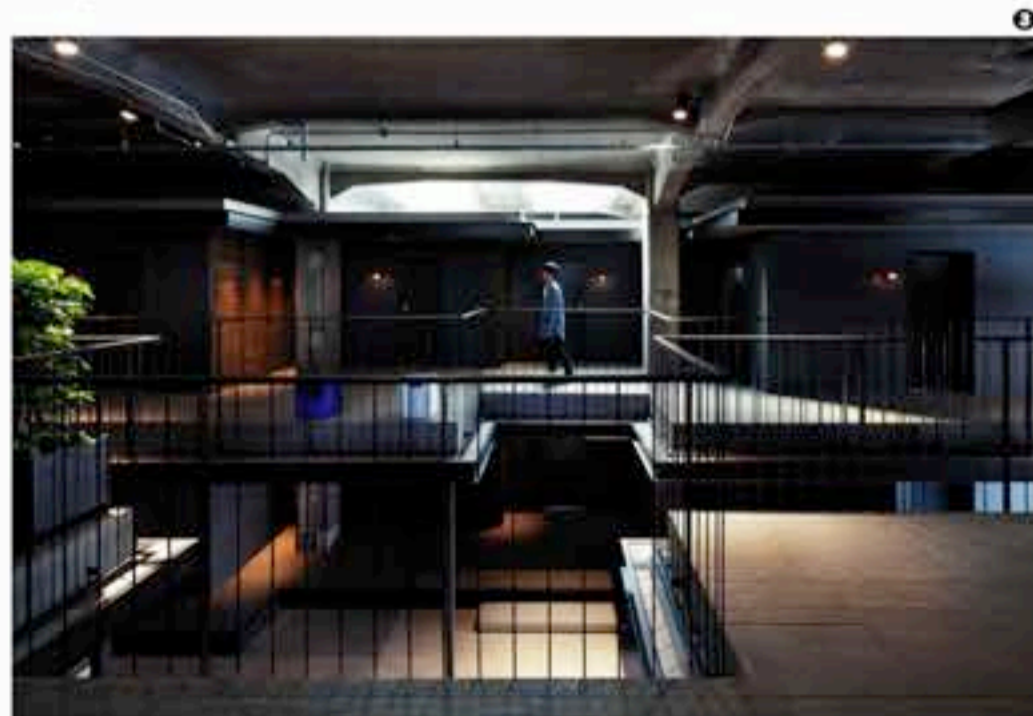
1- ショップ空間 ①  
**ステラマッカートニー青山**  
 建築設計：株式会社竹中工務店  
 鈴木 真則  
 店舗インテリア設計：Stella McCartney / Stella McCartney Store Planning  
**Stella McCartney AOYAMA**  
 Suzuki Shigenori  
 TAKENAKA CORPORATION  
 Stella McCartney / Stella McCartney Store Planning

1- ショップ空間 ②  
**イグアナアイ青山メインストア**  
 (東京都港区南青山5-6-14)  
 株式会社水谷社デザイン事務所  
 水谷社市

**IGUANEYE Aoyama Main Store**  
 Soichi Mizutani

4- サービス・エンターテイメント空間 ①  
**ONOMICHI U2**  
 (広島県尾道市西御所町5-11)  
 SUPPOSE DESIGN OFFICE株式会社  
 谷原誠十吉田愛

**ONOMICHI U2**  
 SUPPOSE DESIGN OFFICE Co., Ltd.  
 Tanijin Makoto + Yoshida ai



# GOLD AWARD

— JCD金賞 —



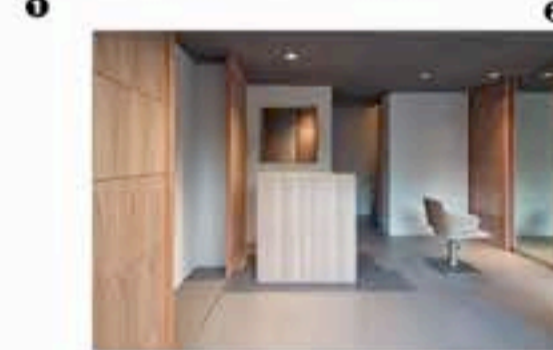
2- 食空間 ①  
**ひとしなや**  
 (東京都大田区羽田空港3-3-2  
 第一旅客ターミナルビル2階)  
 株式会社松井亮建築都市設計事務所  
 松井亮  
**Hitoshinaya**  
 Ryo Matsui Architects Inc.  
 Ryo Matsui

3- 大規模商業空間 ②  
**中央線高架下プロジェクト**  
 コミュニティステーション東小金井  
 モビリティステーション東小金井  
 株式会社リライアントペロップメント  
 古澤大輔+朝山真人

**UNDER THE CHUO LINE RAILWAY TRACKS COMMUNITY STATION MOBILITY STATION REWRITE**  
 Development Co., Ltd.  
 Daisuke Funusawa + Masato Momiyama

5- 文化・公共 ①  
**Greenery, Yard**  
 (台湾)  
 Sun-Life Interior Design  
 SYU SHENG-SIN  
**Greenery, Yard**  
 Sun-Life Interior Design  
 SYU SHENG-SIN

6- 公共生活空間 ①  
**Rebirth**  
 株式会社松井亮建築都市設計事務所  
 松井亮  
**Rebirth**  
 Ryo Matsui Architects Inc.  
 Ryo Matsui



# JURY AWARD

— JCD審査員賞 —

4- サービス・エンターテイメント空間 ①  
**109シネマズ二子玉川**  
 株式会社フィールドフォー・デザインオフィス  
 大久保敏之+高田雄太  
 \*谷川じゅんじ賞  
**109CINEMAS FUTAKOTAMAGAWA**  
 FIELD FOUR DESIGN OFFICE  
 Okubo Toshiyuki + Shimada Yuta  
 Junji Tanihawa Award

4- サービス・エンターテイメント空間 ②  
**Dolphin (Beauty salon)**  
 Takara Space Design  
 Yasui Taiishi  
 タカラスペースデザイン株式会社  
 安井太志  
 \*水野誠一賞

6- 公共生活空間 ①  
**TIMBER DENTISTRY**  
 Kohki Hiranuma Architect & Associates Co., Ltd.  
 Kohki Hiranuma  
 株式会社平沼孝啓建築研究所  
 平沼孝啓  
 \*永山祐子賞  
**Yuko Nagayama Award**

### JCDデザインアワード審査総評

今回のJCDデザインアワードを通じて、あらためて商業環境におけるデザインの役割や意義が問われたのではないと思う。商業環境は業態や目的が多様多岐にあり、それを作り上げるためのデザインのアプローチもさまざまである。いづれにしても商業環境は商業という目的を達成するためのものであり、それを形成するデザインのコンセプトもその目的を達成するように考えられるべきである。しかし、はたしてそれだけでいいのだろうか？その疑問が今回の審査会での最大の論点になったのではないと思う。512点の応募作から選出されたBEST100点の作品群はどれもおしなべて質が高く、安定感のあるものばかりであった。しかしながら、あえて誤解を恐れずに言うと、職業的なものが多かった気がする。いわゆるプロフェッショナルな仕事を感じるのだが、他方でどこかで見たことがあるような手法のものが多く、鮮烈なオリジナリティを感じるものが少なかったように思う。そんな中で大賞

を目前とした最終選考に残った数点はどれも明確な意思を持ち、強いメッセージ性を備えていた。今回は結果的に大賞は選出されず準大賞が3点という事になったが、それぞれが全く違う視点でこれからの商業環境に対する提案がされていたように思う。この3点の中で、ONOMICHI U2が最も社会性が高く地域活性化を担うまさに商業環境の役割をはたしているのだが、何よりもどこか懐かしさを感じる街なみのような環境作りが素晴らしい。一方イグアナアイ青山メインストアはデザイン的に今までにない新しい表現にチャレンジしており、すがすがしい空間であった。ステラマッカートニー青山は、街なみに対してそのファサードが圧倒的な美しさを放っているが、これは最新の技術によって成し遂げられたものである。それぞれの物件は社会性、芸術性、技術力において今までにない新しい価値観を創出しようとしているのではないだろうか。

橋本夕紀夫

審査員

■1次審査 審査員：阿部秀夫、藤島高樹、岩佐達郎、内山敬子、住吉裕史仁、小田秀樹、折原美紀、香川誠二、笠原美里子、高目久美子、木田隆子、窪田 茂、小泉 誠、小坂 竜、高橋 忠、高村 裕之、武石正寛、大畑 通、谷川じゅんじ、長町志穂、永山祐子、中村真之介、中村茂雄、萩原 剛、橋本夕紀夫、長谷川謙、藤部俊樹、原田啓二、深田静庵、文田昭仁、不破淳二、水野誠一、村松基安、山室健市、渡邊哲也 (50 名順)

■2次公開審査 審査員：木田隆子、小坂 竜、谷川じゅんじ、永山祐子、橋本夕紀夫、藤部俊樹、水野誠一 (9 審査員長) (50 名順)

# SILVER AWARD

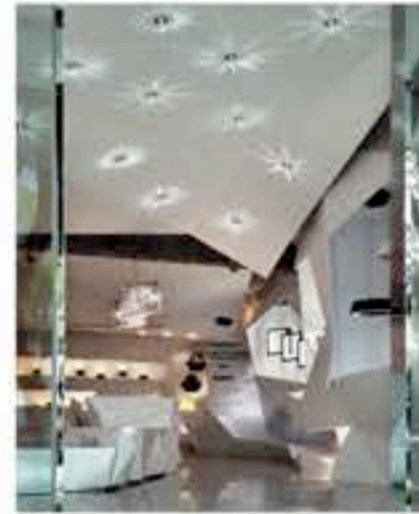
— JCD銀賞 —



1



2



3



4



5



6



7



8



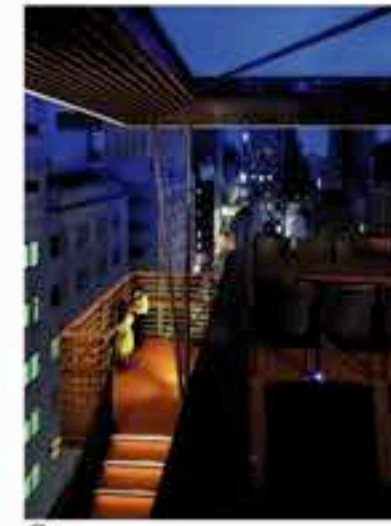
9



10



11



12



13



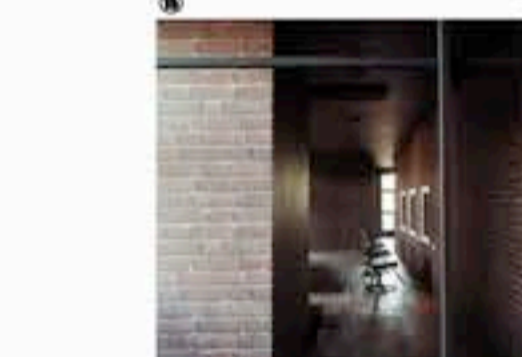
14



15



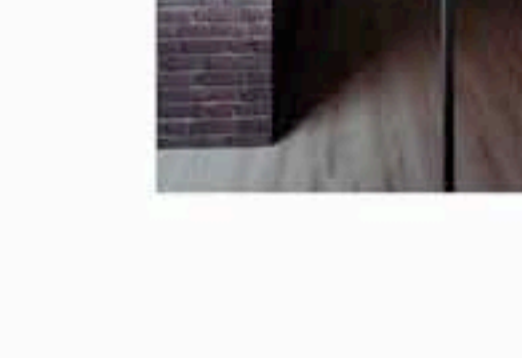
16



17



18



19



20



21



22

1-ショップ空間 1  
**家乃舎日本橋店**  
 (東京都中央区日本橋室町1-5-5  
 2F) 高野 誠  
 隈研吾建築都市設計事務所  
 隈研吾+宮原賢二十神谷修平  
**Kayaniya Nihonbashi**  
 Kengo Kuma and Associates  
 Kengo Kuma +  
 Kenji Miyahara + Shuhei Kamiya

1-ショップ空間 5  
**トリバコーヒー 銀座本店**  
 株式会社乃村工務社 A.N.D.  
 宮里貴典  
**TORIBA COFFEE GINZA**  
 NOMURA Co.,Ltd A.N.D.  
 Miyazato Takashi

1-ショップ空間 6  
**mokuzai.com-MARUHOH**  
 (東京都新宿区西新宿3-7-1  
 新宿パークタワー リビングデザインセンター  
 OZONE6F)  
 株式会社フィールドフォース  
 デザインオフィス  
 志村美治+井筒英理子  
 “小坂竜賞”

mokuzai.com-MARUHOH  
 FIELD FOUR DESIGN OFFICE  
 Shimura Yoshiharu + Izutsu Eriko  
 Ryu Kosaka Award

1-ショップ空間 2  
**お米や**  
 有限会社スキーマ建築計画  
 長坂常  
 “服部温樹賞”  
**OKOMEYA**  
 Schemata Architects  
 Jo Nagasaka  
 Shigeki Hattori Award

1-ショップ空間 3  
**Lanterns**  
 (台湾)  
 YUN-YIH DESIGN COMPANY  
 LEE CHUNG LIN  
**Lanterns**  
 YUN-YIH DESIGN COMPANY  
 LEE CHUNG LIN

1-ショップ空間 7  
**圓井時正玩具花火製造所**  
 design office TERMINAL  
 宗像友昭  
 “新人賞・木田隆子賞”  
**Tsutsui tokimasa**  
**fireworks Co., Ltd.**  
 design office TERMINAL  
 Tomoaki Munekata  
 Rookie Award + Ryuko Kida Award

1-ショップ空間 4  
**BbyB.GINZA**  
 (東京都中央区銀座3-4-5)  
 デザイン：有限会社 nendo  
 佐藤オオキ  
 共同設計：株式会社乃村工務社  
 堀田真澄+鈴木祥平  
**BbyB.GINZA**  
 Nendo Inc.  
 Oki Sato

2-食空間 8  
**小さな舞台**  
 佐藤事務所  
 佐藤美輝+権野圭洋  
**Little Stage**  
 Sato office  
 Yoshiteru Sato

2-食空間  
**西天満 難しお津**  
 (大阪市北区西天満4-12-31F)  
 STILE  
 大原伊賀  
**Sushi Shiotsu, Nishitenma**  
 STILE  
 Ietsugu Ohara

4-サービス・エンターテインメント空間  
**Un Calin**  
 タカラスペースデザイン株式会社  
 溝口 隆  
**Un Calin**  
 Takara Space Design corp.  
 Yuguchi Iwao

2-食空間  
**難しおか**  
 株式会社match  
 竹中隆士+佐賀孝規  
**sushi nishioka**  
 match inc.  
 ryuji takenaka + takenori saga

4-サービス・エンターテインメント空間  
**maWaRu**  
 一級建築士事務所ageha.  
 山上里美  
 “新人賞”  
**maWaRu**  
 ageha.  
 SATOMI Yamakami

3-大規模商業空間  
**Farmus 本島平**  
 (長野県下高井郡本島平村大字上本島38-1)  
 一級建築士事務所スターバイロップ  
 三浦文典  
**Farmus Kijimadaira**  
 Starplots  
 Miura Takenori

5-文化・公共・コミュニケーション空間  
**大阪国際平和センター**  
 株式会社乃村工務社  
 吉永光秀+高橋勇人+小阪雄造  
 三浦文典  
**OSAKA INTERNATIONAL  
 PEACE CENTER**  
 NOMURA Co.,Ltd.  
 MITSUHIDE YOSHINAGA +  
 YUTO TAKAHASHI + YUZO KOSAKA

3-大規模商業空間  
**NOCO**  
 株式会社竹中工務店  
 横田秀樹+黒田隆士  
**NOCO**  
 TAKENAKA CORPORATION  
 Boda Hideki + Kuroda Takashi

6-公共生活空間  
**ブルーボトルコーヒー**  
 株式会社竹中工務店  
 清澤白河+カスター+カフェ  
 有限会社スキーマ建築計画  
 長坂常  
**Blue Bottle Coffee**  
 Kiyosumi-Shirakawa Roastery & Cafe  
 Schemata Architects  
 Jo Nagasaka

4-サービス・エンターテインメント空間  
**箱根山テラス**  
 (神奈川県箱根町小支町字若原1-232)  
 ランドスケープ  
 有限会社オンサイト計画設計事務所  
 長谷川浩巳  
 建築：株式会社アイデアアトリエ十  
 名古屋市立大学久野研究室  
 会田友朗+久野紀光  
**Hakoneyama Terrace**  
 studio on site  
 Hiroaki Hasegawa  
 Aida Atelier, Inc.+Nagoya City University,  
 Kuno Laboratory  
 Tomoro Aida + Toshimitsu Kuno

6-公共生活空間  
**HIGO**  
 (北海道札幌市中央区南11丁目5-1)  
 建築設計：株式会社ANAカサマアキテクト  
 中山真琴+藤田麻由子  
 構造設計：元・株式会社日建設計  
 山脇克彦  
 株式会社北海道日建設計  
 小谷卓司  
**HIGO**  
 nA Nakayama Architects co.,Ltd.  
 Makoto Nakayama

4-サービス・エンターテインメント空間  
**Exploded**  
 (香港)  
 One Plus Partnership (Hong Kong) Limited  
 Ajax Law & Virginia Lung  
**Exploded**  
 One Plus Partnership (Hong Kong) Limited  
 Ajax Law & Virginia Lung

6-公共生活空間  
**はくすい保育園**  
 山崎健太郎デザインワークショップ  
 山崎健太郎  
**Hakusui Nursery School**  
 Yamazaki Kentaro Design Workshop  
 Kentaro Yamazaki

# Panasonic

その光は、  
照明にも  
映像にもなる。

「商品や空間を照らす」と「情報や映像を映す」を一台で。

SpacePlayerが「プロジェクション・ライティング」という新演出を実現します。

お店のショーウィンドウを華やかに演出したり、

美術館で展示物の解説を行うなど、物や空間を照らしながら、

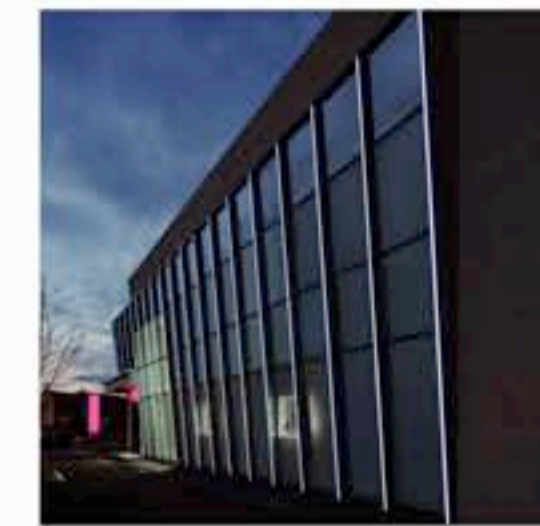
情報や映像を自由に映すことができます。また、配線ダクトにつなぐだけで

設置でき、細かな角度の調整も簡単で、真下への照射も可能です。



- 光出力:1,000lm ○入力電圧:AC100V 50Hz/60Hz
- 消費電力:125W ○重量:3.0kg
- 寿命:20,000時間(初期の50%の明るさに60%まで)
- 推奨映像解像度:1,280×800
- レンズ:電動ズーム(1~2.2倍)・電動フォーカス
- 接続端子:HDMI(19P)1系統HDCP対応
- LAN(RJ-45)1系統
- ネットワーク接続用P2Link(class1)対応
- 100Base-TX、10Base-T
- 本体のみでSDカードの静止画・動画再生が可能
- 無線LAN:IEEE802.11a/b/g/n
- ワイヤレス伝送技術「Miracast」対応
- 音声出力端子:M3ステレオミニジャック
- DHTML、HDMI Licensing LLCの登録商標です。

Special Report 4  
JCD Product of the Year 2015



準グランプリ  
不二サッシ株式会社  
ALBEAM SYSTEM



準グランプリ  
大光電機株式会社  
薄型棚下ダウンライト

その光は、  
照明にも  
映像にもなる。



PRODUCT OF THE YEAR 2015 グランプリ受賞コメント  
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社  
筒井 亨  
皆様のご支持でグランプリ受賞させて頂きました。ありがとうございます！「照明と映像の融合で空間の可能性が広がる」という商品で、皆様の想像力次第でこれまでにない表現を可能にすることができます。驚きの空間作りにご活用下さい。

グランプリ  
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社  
Space Player

プロダクトアワード2015 選評/JCD 理事長 長谷川 演

1位 グランプリ:「Space Player」  
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社  
昔、ぶら下がったブラウン管からの映像がテーブルに落ち、動くライティングとしてのアートを見た。これは、その先である。「映像が光に」ではなく「光が映像に」なる時代が来た。夜の世界を映し出す光。そこにこんな自由が与えられた世界はどこまで変化するのだろうか。次は私達デザイナーの仕事。この新しさをどう使いこなせるかが問われるのである。

2位 準グランプリ:「ALBEAM SYSTEM」  
不二サッシ株式会社  
先日、安藤忠雄が言っていた。「25年以上たった今でも、なんとか「光の教会」のガラスを外せないかと思っている。」と。それほど建築にとって開口部の本質はピュアである。一転、ここでその邪魔者が主役となるステージが生まれた。自らが光を生み出すファサードは太陽や月の光のように上からではない。非日常の夜を生み出してくれるシステムは、街を新たな風景で彩ってくれる。

3位 準グランプリ:「薄型棚下ダウンライト」  
大光電機株式会社  
高空間の本質は感情の変化にある。それを誘うのが光。いかに商品を見せるかの勝負である。ライティングの進化と共に成長して来たショップデザイン。100Vの簡単施工はトランス等付属物隠しの煩わしさを消してくれた。また新たなデザインがこの光によって生まれ、社会に大きな変化をもたらしてくれるであろう。

一般的なライティングとして使用

プロジェクション・ライティングとして使用

◎画像はイメージです

## Space Player

スペース プレーヤー



実際の使用例を動画でご確認いただけます。

スペースプレーヤー 検索

Wonders! by Panasonic

あらゆる商環境の創造を通じて、  
より豊かな社会を。  
人間の未来を見据えた  
空間創りを大切にしています。

An even more prosperous society through the creation of various commercial environments. Placing the emphasis on creating spaces fit for the future of humanity.



株式会社スペース 商業施設の企画・設計・施工・管理  
本社 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-9-4 TEL.03-3669-4008  
東京・名古屋・大阪・福岡・札幌・仙台・横浜・金沢・静岡・京都・広島・岡山・鹿児島・沖縄・上海・香港



Kingsmen  
We Understand Your Needs  
Creating the experience of a place through the integration of lighting, sound, and window design, our dynamic team is committed to meeting your every need with our integrated capabilities.  
株式会社キングスマンプロダクトデザイン  
〒117-0071  
東京都中央区本町1-3-2  
株式会社キングスマン  
TEL: 03-3542-0291  
WEB: http://www.kingsmen.jp  
E-mail: info@kingsmen.jp  
Kingsmen (UK) Limited, Beijing, Russia, Dubai, London, Los Angeles, Mexico City, New York, Singapore, Sydney, Taipei, Tokyo, Toronto, Vancouver, Vietnam, Wuhan, Xiamen, Zhongshan



4位  
不二サッシ株式会社  
LEDデスクライト「アルエア」

TOTO株式会社  
cledy versa - Optics reflector Type エコリモコン (ウォッシュレット専用リモコン)



5位  
スイッチを押すたびに発光し、その電気で赤外線パルスに最適な、パルス幅にも最適な、発光にも最適なLEDリモコン。



6位  
skinch JAPAN  
DIAMOND SOFA

有明会社 藤田左官工務所  
版築かまど



7位  
版築  
竈

# JCD Product of the Year 2015



9位  
ソリュート株式会社  
ESGパネル

10位  
奇異ファシリテーズ株式会社  
e(イー)-セービングドア



11位  
大光電機株式会社  
ハイパワー間接照明 Froteline

## 宙華 sorahana

新しい間接照明で空間を上質に演出

sorahana 1号

カバータイプ  
器具サイズがコンパクトである為、小空間の演出に最適です。

sorahana 4号

反射板タイプ  
反射板を使用し、光を効率的に反射し、大空間の演出に効果的です。

光の模様は、全5タイプ

カバータイプ

反射板タイプ

DAIKO

## GOOD DESIGN AWARD 2015年度受賞

ペンダントライトとLED建材がグッドデザイン賞を受賞しました。

Invisible - Visible. 空気に溶け込み、まるで光だけが浮遊する。

### 光を取り込んだ新設計 ALBEAM

不二サッシ株式会社 LED照明部

## NOMURA GROUP

# 世界に、歓びと感動を

まだまだ、もっと。空間は生きてくる。

### 株式会社 乃村工藝社

本社 東京都港区台場 2-3-4 TEL: 03-5962-1171 (代表)

## CHUAI products of ecomagination

# Tetra' Contour LEDNEON

新しいLED照明システムとして開発された装飾照明。ネオン管の様な演出を得、意匠、サインや建築照明アクセント照明等にも最適。

シリコンで覆われたLED光源  
Light Engine Color Lineup

2Way Flexible LED Module

LEDエンジンと樹脂ガイドで構成されたアイデアへフレキシブルに対応する次世代装飾照明!

Light Guide Color Lineup

デフォルトカラーは各6色

中愛株式会社  
TEL: 03-5732-0661

## PREGANO UNION HOTEL ROOM HARDWARE COLLECTION

UNION ユニオン

www.union.co.jp  
www.atelionunion.co.jp

ホスピタリティは細部にこそ息づく。

ここが居心地のいい、心ゆくまでくつろぎ、ゲストを迎入れるホテル。"アークウェア"をコンセプトとするユニオンが、もてなしの空間に思いを凝らした至高のハードウェアシリーズ"PREGANO(プレガノ)"。その美しさはエントランス、ワードローブ、ベッドルーム、サニタリーの4つのゾーンにおけるターゲットコーディネートが可能。クッションからモダンまで多様な空間に調和し、世界に名だたるハイブランドとも共舞しながら、もてなしの空間をさらに高める。

**Entrance Zone**

レバーハンドル  
ドアノブ  
ドアスコープ  
鏡  
ドアストッパー

**Wardrobe Zone**

ユニオン  
鏡  
鏡  
鏡  
鏡

**Bedroom Zone**

ユニオン  
ユニオン

**Sanitary Zone**

シャワーブースハンドル  
シャワーヘッド  
タオルラック  
タオルハンガー  
ガラス鏡  
鏡  
鏡

**Grace Series**

レバーハンドル  
ドアノブ  
ドアノブ  
ドアノブ

●お好みの色・素材・サイズ・仕様など、お気軽にご相談ください。